別紙１

羽島市ボッチャ大会　競技実施要領

１ 原　　則　本要領に定める項目以外は、同年度の日本ボッチャ協会フレンドリーマッチ競技規則を準用する。なお、疑義が生じた場合は大会主催者が判断する。

２ 用　　具
（１）ボール
①　試合は、主催者が用意するボールを使用して行う。
②　ただし、個人が用意したボールを使用してもかまわない。
（２）投球補助具（以下「ランプ」という。）
①　ランプが必要な選手は、原則、各自で用意したものを使用する。
ただし、ランプがない場合は、大会主催者に事前に相談すること。
（３）その他
①　主催者側による用具の検査は行わない。
②　基準を満たした用具を、適正に使用すること。

３ 試合形式
（１）予選は３～４チームによるリーグ戦を行う。その後、予選リーグ上位チームによる決勝トーナメントを実施する。
（２）３対３のチーム戦とする。予選リーグ、決勝トーナメントどちらも１試合は４エンド、４エンド終了時に同点の場合はタイブレーク（ファイナルショット）で勝敗を決める。
（３）先攻後攻は、コイントスもしくはじゃんけんで決定する。
（４）投球数は、１エンドあたり１人２球（１チーム３人で計６球）投げる。
（５）ジャックボールを含めた各チームの投球時間の合計は、１エンドあたりそれぞれ４分程度とする。
（６）試合前のウォーミングアップは、１人２球とする。
（７）各チーム１回目の反則行為は注意にとどめるが、２回目以降はペナルティとする。
（８）１エンド終了後にチームのメンバーの交代を認める。その際、審判に交代を告げなければならない。
（９）交流試合
決勝リーグで敗退したチーム・予選リーグにおける各グループの２～３位のチームは交流試合をタイムテーブルに沿って実施する。（最終順位はつけない。１試合のエンド数は２エンドとする。）

４ チーム構成　チームの構成は男女の区分はない。また、障がいの区分もなく、３人で１チームとする。

５ 順位決定
（１）予選リーグの順位は、次の順で決定する。
①　勝ち試合数の多いチーム
②　勝ち試合数は同じ場合は、直接対決で勝ったチーム
③　①②で決まらない場合は、得失点差の高いチーム
④　③で決まらない場合は、総得点の多いチーム
（２）上記の①～④で決まらない場合は、タイブレーク（ファイナルショット制度）で決定する。